

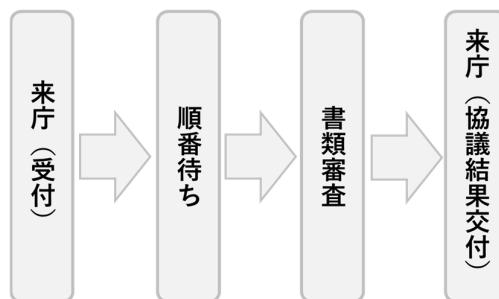
令和7年11月7日
下水道河川局河川流域管理課

来庁回数が大幅に減少:24時間受付 「雨水浸透阻害行為の事前協議」のオンライン化を試行します

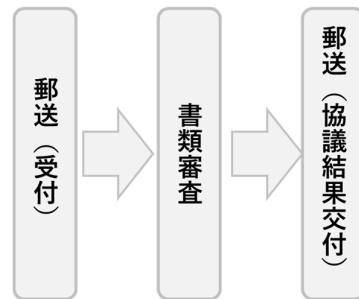
横浜市では、横浜DX戦略に基づき行政サービスの向上を推進しています。下水道河川局では、下水道DX戦略を策定し、魅力ある下水道サービスの提供を掲げて行政手続きのオンライン化に取り組んでいます。令和7年11月10日から、「雨水浸透阻害行為の事前協議」のオンライン化を試行実施します。これによって、受付時と結果交付時の来庁が不要になるため、来庁回数が減少し大幅な時間短縮になります。

事前協議の流れ

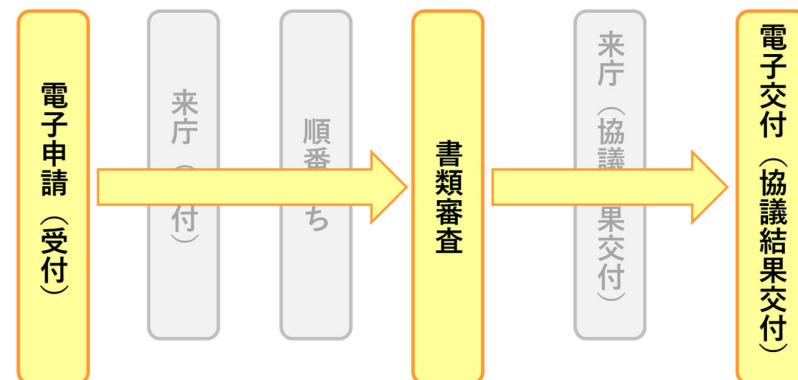
【来庁手続】



【郵送手続】



【オンライン手続】



- ・24時間受付可能
- ・来庁回数が最低ゼロ回になる
- ・手続時間の短縮



申請先 URL

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/bcbfb651-ac3f-4202-b1e3-3a80aa3e2be7/start>

申請先 (二次元コード)

「雨水浸透阻害行為の事前協議」とは(雨水浸透阻害行為の具体例を裏面に図示しています)

平成15年6月に特定都市河川浸水被害対策法が施行され、平成17年4月に鶴見川流域、平成26年2月に境川流域が特定都市河川流域に指定されました。これにより、流域内の住民、事業者は雨水を貯留浸透する努力を担い、雨水浸透阻害行為を行う場合は、許可が必要となりました。許可申請の要・不要の文書回答が必要な場合や、土地の流出係数を事前に把握したい場合に事前協議を行っています。

裏面あり



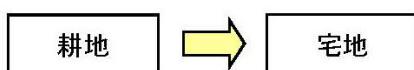
GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



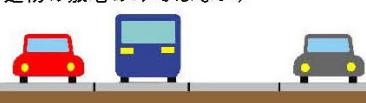
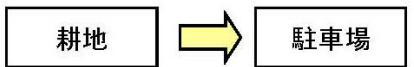
【雨水浸透阻害行為の具体例】

1. 「宅地等」にするために行う土地の形質の変更

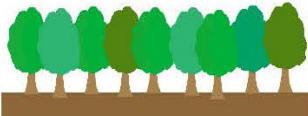


(注: 宅地とは、建物の敷地のみではない)

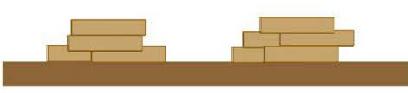
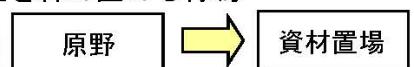
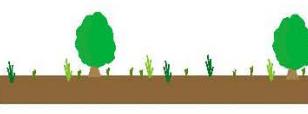
2. 土地の舗装



3. 排水施設を伴うゴルフ場、運動場の設置



4. ローラー等により土地を締め固める行為



従前の土地の形質を改変するような行為は、雨水浸透阻害に該当します。

注) 「宅地等」に含まれる土地：宅地、池沼、水路、ため池、道路、鉄道、飛行場

「宅地等」以外の土地：山地、林地、耕地、原野

お問合せ先

下水道河川局河川流域管理課長 石井 智博 Tel 045 - 671- 2819



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

